

【高等学校用】

令和8年度学校評価計画

達成度(評価)
 A:十分達成できている C:やや不十分である
 B:おおむね達成できている D:不十分である

学校名	佐賀県立佐賀北高等学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の自主性を促しながら実践的・体験的な活動を充実させることができた。 計画的に学習に取り組む姿勢の醸成について、より進路実現に結び付くように支援体制を整えていきたい。 文化・芸術やスポーツ等の分野で大いに活躍した。学校の特色を生かした地域貢献活動を実施する。
2 SAGAスクール・ミッション 学校教育目標	○自主自律を重んじる自由な校風の下、生徒それぞれの個性や能力、可能性を最大限に伸ばし、ウェルビーイング(自己と地域の幸福)に貢献する人材を育成する。 ○県内唯一の学科である芸術科においては、芸術の発展に寄与し、芸術の魅力を広く発信することのできる人材を育成する。
4 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> 主体的、対話的で深い学びの実践による「確かな学力」の向上を図る。 自己分析力の向上を促し、将来を見据えた進路選択を支援する。 自らの進路実現に向け、主体的・計画的に学習に取り組む姿勢を養う。 学校の特色を活かした地域貢献活動を通じて、主体性や社会性を育む。

3 スクール・ポリシー

アドミッション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	グラデュエーション・ポリシー
① 学業での学びを部活動に、部活動での学びを学業に生かしながら学校生活に取り組む意欲のある生徒を求めます。 ② 自由と責任を両立させ、明るく前向きに集団生活を送ることができる生徒を求めます。 ③ 失敗を恐れず挑戦することや最後まであきらめず努力する意気込みのある生徒を求めます。 ④ 創造性、国際性を身につけ、社会のリーダーとして活躍したいという意欲のある生徒を求めます。 ⑤ 感性を高め、技術を磨き、社会をクリエイトしていこうという意欲のある生徒を求めます。	① 単位制のメリットを生かすとともに、ICTやアクティブラーニングを取り入れ、個別最適な学びを実現します。 ② 学校行事や部活動、生徒会活動を通して、自ら考え行動する力の育成と協働的な学びを推進します。 ③ キャリア教育を推進し、生徒それぞれの希望・能力・適性に合った進路実現を支援します。 ④ 国際交流や外部指導者による指導など、多様な価値観に触れる活動を実施・奨励します。 ⑤ 主権者教育やSDGsに関する学びを推進し、社会参画についての学びを深めます。 ⑥ 芸術科では、多様な学校独自の科目を設置し、各専攻	①多様性を尊重し、豊かな人生を切り拓くとともに、より良い社会の形成者として、調和と協調に基づくウェルビーイング(自己と地域の幸福)の実現に貢献する人材を育成します。 ②持続可能な社会の実現に向け、様々な視点から物事を捉え、主体的に学ぶ意欲と物事に柔軟に対応する力、諦めず粘り強く取り組む姿勢を育成します。 ③多様な分野において、豊かな教養と優れた感性、高度な技術を持ち、社会や文化・芸術の発展に寄与できる人材を育成します。

5 重点取組内容・成果指標

重点取組内容・成果指標				中間評価	最終評価	主な担当者				
(1)共通評価項目				中間評価	最終評価					
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し		達成度(評価)	実施結果	評価	学校関係者評価 意見や提言
●学力の向上	○計画的に学習活動に取り組む姿勢の醸成	○「計画的に学習することができた」と答えた生徒が70%以上	・模擬試験を通して現状を把握し、指導のポイントを明確にする。 ・定期的に志望校調査を行い、進路検討会での目標を達成するための手だてを明確にする。 ・一定の自宅学習時間を確保させるとともに、学習時間確保のためのタイムマネジメントを行わせる。							進路指導部 各教科
	○他者の考えや意見を聞く機会を設定し、生徒に物事についての多様な考えを身につけさせる。	○「総合的な探究の時間や各教科で、協働的な活動の取組ができた。」と答えた生徒が70%以上	・総合的な探究の時間の意味や意義について、教職員間の共通理解を深める。 ・総合的な探究の時間の計画的な実施							
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「学校は、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動を行っている」と答えた生徒80%以上	・講演会や国際交流を推進し、多様な価値観に触れる機会を設ける。 ・読書を通して、生徒の興味関心の幅を広げ豊かな心を育む。 管理職・学年主任・保健室・教育相談・生徒指導担当で情報共有し、指導に活かす。							総務部 図書部 教育相談部
	○教育相談体制の充実	○ケースミーティングを定期的開催								
●健康・体づくり	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ重大事案件数:0件 ○「いじめ」防止等について組織的に対応ができていると回答した生徒の割合が70%以上	・アンケート調査を年2回実施する。 ・アンケート後1週間以内に情報共有し、必要に応じて各分掌が協力して早期に対応する。							教頭 生徒指導部 各学年
	●健康を考へて行動できる能力の育成	○各種健診後の受診率40%以上	・各種健診後の受診勧告を速やかに行い、年に2回以上行う。 ・生徒への個別指導、集団指導、再検査を行う。 ・保健だよりを発行する。							保健・厚生部
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・定時退勤日(毎週金曜日)の設定 ・学校閉庁日、年休取得推進期間の設定 ・部活動休業日の設定 ・ICT等を活用しての業務負担の軽減に取り組む							教頭
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する教員の専門性と意識の向上	○「特別支援教育に関する意識が向上した」と回答した教職員の割合70%以上	・特別支援に関する研修会を年1回開催する。							教育相談部
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価	最終評価	主な担当者				
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し		達成度(評価)	実施結果	評価	学校関係者評価 意見や提言
★唯一無二の誇り高き学校づくり	◎★ふるさとへの思いを醸成して、自己と地域の幸福の実現に貢献しようとする姿勢を養う。	◎「ふるさとに誇りや愛着を感じる。どちらかというと感じる」と回答した生徒70%以上 ★郷土の人材等を活用した講演会を、各学年年間1回以上	・「佐賀語り」等を活用した授業に取り組む。 ・郷土の人材等を活用した講演会を実施する。 ・生徒会を中心とした地域との連携を広げる。							
	★実践的・体験的な活動の充実	★部活動加入率:90%以上 ★北高ルーブリックで生徒の成長がみられる。	・学校行事、部活動、生徒会活動、校外活動(地域との活動)への積極的参加を促進し、他者と協力して共通の目標を達成する力を養う。							
	★生徒が自主的・自律的に責任を持って行動できるように促す指導	★「自主的、自律的に責任を持って行動できていると回答している生徒」が80%以上	・生徒会生徒を中心に校則や学校生活のあり方について生徒たち自身が主体的に考え判断し、行動できるような雰囲気づくりや場の設定を企画する。							
	★学校魅力の強化と校外へ向けての情報発信	★自分の学校を中学生に勧めることができる生徒の割合90%以上、教職員の割合90%以上 ★県外からの入学者数5人以上	・学校魅力を校内全体で共有し魅力化に向けて取組む体制づくりを行う。 ・SNSやホームページの役割を整理して、効果的に情報発信をする。							総務部 主幹

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり

6 総合評価・次年度への展望(簡潔に)